

公立大学法人福知山公立大学中期計画に係る評価委員会意見

項目		意見		対応	
第4	1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	(1)教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	①～⑤ 3頁	中期目標・中期計画・年度計画は常にリンクさせる必要がある。しかし、中期目標には「インターンシップに主体的に取り組む」と記述されているが、中期計画や年度計画には書かれていない。	中期計画(年度計画にも)インターンシップに関する記述を追加。
		(2)教育の内容等に関する目標を達成するための措置	③ 5頁	高大接続システムの動向を踏まえた入試制度を検討するということに、文部科学省の学力3要素なども取り入れて作成すれば説得力が増すのではないか。	該当部分に「学力の3要素」、「3ポリシー」の文言を追加修正した。 「学力の3要素」、「3ポリシー」について、用語集に追記することとした。
		(3)教育の実施体制に関する目標を達成するための措置	② 5頁	アの「学生支援」は教育的支援なのか、生活支援なのか何を指しているのかが分かりにくい。もし中期計画を修正できるのであれば、例えば「学生生活支援」と言葉で補うと良いのではないか。 「イ 学生の育成」についても、定義が広く、何を指しているのかが分かりにくい。学生のキャリア支援のほうがいいのではないか。	アの「学生支援」を「生活支援」に、イの「学生の育成」を「キャリア支援」に修正した。 また②の標題につき、「学生支援及び育成」から「学生支援」に修正した。
	3 地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置	(4)地域連携体制の構築による安定した就職先の確保	7頁	北近畿地域に就職することを前提にしているように読み取れる。就職にあたり、たとえ福知山市以外の地域へ行ったとしても、その就職先の地域課題を解決できるような人材を輩出するというのが本学の役割ではないか。	(4)の目標自体が北近畿地域への就職を促進するものであるため計画部分に意見に応じた記載をするのにそぐわないし、当然のことながら他地域への就職を排除しているわけでもない。 また、本学の教育は、北近畿地域をフィールドとするものの、大学における学問として一般的な基礎科目、専門科目を多数含む体系化されたカリキュラム編成がされており、養われる課題解決力は北近畿地域に限定されるものではない。 以上の理由から、特段の対応は不要であると考えた。

公立大学法人福知山公立大学中期計画に係る評価委員会意見

第5	1 経営体制に関する目標を達成するための措置	(1)安定的・機動的な管理体制の構築	③	8頁	「機動的な学内運営を図る。」という部分は、どのように評価したらいいのかが分からない。きっちり○・△・×という形で評価できるように具体的な項目、指標を作るべきである。	中期計画には「教職員の協働により」という文言を追加。具体化は年度計画で記載。
第6	4 自己財源の増加に関する目標を達成するための措置	(2)外部資金の獲得		11頁	外部資金獲得の方策として、基金を作り、ふるさと納税制度として活用してみてもいいか。ふるさと納税を中期計画に盛り込まれるかどうかは分からないが、お金がないからこれだけの教育しかできないという考え方ではなく、教育の保障に取り組まなければならない。	今後、状況に応じて次年度以降に年度計画に記載する。
第8	3 安全管理に関する目標を達成するための措置	(1)(2)(3)		13頁	学生の安全対策の観点はどうなっているのか。本学は、地域に開かれた大学となる必要があることから、一概には言えないが、全く関係のない悪意を持った人への防止策の観点も必要ではないか。	(1)に「学生の安全対策等を含む」との文言を追加。

その他	ゴシック体の(1)、(2)、ア、イ、ウと明朝体の(1)、(2)ア、イ、ウなど、使い方の区分が難しい。分かりやすい区分をされたほうがいいのではないか。	「1、(1)、ア」等の項目立てがある場合はゴシック体で標題を付し、項目立てが無く複数の文章からなる場合は、「・」(中黒)を文頭に付した。新たに項目立てゴシック体の標題を全体に追加した。
	中期目標・中期計画・年度計画は常にリンクさせることが必要である。中期計画に書けない部分は年度計画に落とし込むなど、中期計画と年度計画との関連性を強めることが大切である。	中期計画は今回の修正で一応の対応とし、今後は次年度以降の年度計画に落とし込むことで対応したい。

※頁は、中期目標・中期計画(案)・年度計画(案)対照表による。